

友のお供新聞

水戸RC
雑誌委員会

過去から今、未来へ

ロータリーアクトー変遷



ロータリーの友3月号の表紙

日本で最初にロータリーアクトクラブ(RAC)が結成されたのは1968年6月1日、埼玉県・川越RCでした。それから40年。時代とともに変遷してきた取り組みを組写真で振り返っています。

(●横7P)

「ロータリーアクトのいま」で紹介されているのは、青年交歓会でパスタやマシ

ユマロなどで自立型タワーを作る「マシユマロチャレンジ」というゲームをした第2590地区(神奈川県)や、イノシシ解体ショーを実施した珠洲RAC、穂高悠生寮の風呂掃除を体験した松本RACなどユニークな取り組みです。過去の取り組みの紹介では、1970年代に盲学校

地域らしさの知恵比べ

地方創生へ本気の勝負

国際ロータリー第2690地区玉島RC50周年記念講演会で、濱家輝雄・倉敷芸術科学大学客員教授が、地元倉敷市玉島を例に「地方創生」と「まちづくり」について話されています。今、ふるさとが地域経済

(●縦4P)

★ロータリーの森を整備

東海那珂RCは、創立30周年を記念し、5年前に県有林を借り受け、植栽した「ロータリーの森」の間伐、下草刈りを実施。さらに、コース内に案内板やベンチを設置しました。地域のハイキングコース、憩いの場

(●縦24P)

★衛星クラブの力

「本格的な独立したロータリークラブになるまでの短期間の移行的形態」とされている衛星クラブが紹介されています。八戸中央西ロータリー衛星クラブは会員が奮起し、2か月で八戸西ロータリークラブに昇格したそうです。

(●横組23P)

★水と衛生の取り組み

「水と衛生」が特集され、スリランカの子どもたちに飲料水を提供する勝浦RC、モンゴル・ゲル地区の子どもたちきれいな水を提供する松戸西RC、猪苗代湖の水質浄化を展開する猪苗代RCの3クラブが紹介されています。

(●横組14P)

★高校生市議会開催

伊万里西RCは、伊万里市市議会で「伊西地区高校生市議会」を開催。6校から計24人が議員となり、一般質問を行いました。選挙年齢が18歳以上に引き上げられたことで、新たな有権者に政治の現場体験をしてみることが目的です。

(●縦組22P)



倉敷市の玉島港

ロータリーの友を読もう

ロータリーの友3月号の横組42ページに、「友」編集長の二神典子さんが「一人、1本木を植えましよう」と題した記事を掲載しています。

二神さん

は、この中で1月に開催されたガバナーエレクトの研修会・国際協議会で、国際ロータリー会長エレクトのイアン H.S. ライズリー氏が強調された「ロータリーの持続可能性」について紹介しています。

ライズリー氏は地球の持続可能性について、その手段として「新年度開始から2018年4月22日のアーステイまでに、各会員につき少なくとも1本の植樹をするよう、すべてのロータリークラブにお願いしたい」と述べています。この取り組みで120万本の木が植えられるそうです。

ライズリー氏が強調したのは、木を植えるだけでなく、間伐などその後の手入れも考えなくてはいけないということです。(風彦)